

東北海区沿岸水温予報(2021年)

海域	経過 (4~6月)	現況(7月上旬~ 7月中旬)	見通し (8~9月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県 太平洋沿岸; 青森水総研発表)	・定地水温:4月はやや高め、5月は平年並み~やや高め、6月はやや高めで推移した。  ・6月の海洋観測の結果、津軽暖流域の水温は、表面、50m層でやや高め、100m層で高めであった。また、水塊深度はやや深め、津軽暖流の東方への張り出しは平年並みであった。	・定地水温はやや高めで推移。	・津軽暖流域の水温はやや高め~高めで推移する。	・FRA-ROMSによると、8月はやや高め~高めと予測されている。	特になし。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	【4月】(4/8) ≪表面水温≫ 表面水温は6~12℃台で、県北部で平年並み~やや高め、県中部でやや低め~極めて高め、県南部でやや高め~極めて高めであった。 ≪100m深水温≫ 100m深水温は6~8℃台で、県北部でやや高め、県中部から県南部で平年並み~やや高めであった。  ※荒天のため、10海里以内の観測となった。 【5月】(4/27~4/28) ≪表面水温≫ 10海里以内の表面水温は6~9℃台で、全域で平年並み~低めであった。 10海里以遠は、5~17℃台で、県北部沖50海里及び県中部沖30~50海里でやや高め~極めて高めのほかは、やや低め~低めであった。 ≪100m深水温≫ 10海里以内は7~8℃台で、全域で平年並み~やや高めであった。 10海里以遠は1~14℃台で、県北部及び県南部で平年並み~低め、県中部で平年並み~やや高めであった。 【6月】(6/1~6/2) ≪表面水温≫ 10海里以内の表面水温は12~16℃台で、平年並み~極めて高めであった。 10海里以遠は、11~18℃台で、平年並み~極めて高めであった。 ≪100m深水温≫ 10海里以内は、9~10℃台で、平年並み~高めであった。 10海里以遠は、3~15℃台で、概ね平年並み~やや高めであった。	【7月】(7/6~7/9) ≪表面水温≫ 10海里以内の表面水温は17~19℃台で、全域でやや高め~高めであった。 10海里以遠は、18~21℃台で、全域でやや高め~高めであった。 ≪100m深水温≫ 10海里以内は8~12℃台で、全域で平年並みであった。 10海里以遠は4~11℃台で、県中部から県南部沖20~30海里で平年並み~やや低めであったものの、他はやや高め~高めであった。	(8月) 100m深水温は県北部の沖合域でやや高め、各0海里定点の10m深は全ての定点でやや高めと予測される。	農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した、水温経験的予測システムを用いて解析した。	2020年に続き、5月上旬~7月上旬に定置網でのサンマ漁獲はなかった。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	4月:黒潮系暖水の波及が強かったため沿岸表層は平年より2~4℃高く、水深100mでも同様の傾向。 5月:岸沿いに親潮系冷水が入り込み岸近くは平年並みとなったが、142°E以東や仙台湾以南では高めの水温。 6月:表面水温は142°E付近を中心に高く最大4℃高め。水深100mでは142°30'E付近に冷水が波及しており北部海域で2℃低め。	表層水温は牡鹿半島周辺域を除いて平年より高く、仙台湾で最大4℃、38Nラインで最大3℃高め。 水深100mでは142°30'E以東に冷水が波及し1~2℃低め。	表層・100mともに、8月上旬はやや高めだが、親潮系冷水が波及し9月には平年並~やや低めとなる見込み。	FRA-ROMSによる	

<p>常磐北部 (福島県沿岸; 福島水セ発表)</p>	<p>100m深 【4月】 県北沿岸は「極めて高め」 県中沿岸は「極めて高め」 県南沿岸は「極めて高め」</p> <p>【5月】 県北沿岸は「平年並み」、沖合は「低め」 県中沿岸は「平年並み」、沖合は「極めて高め」 県南沿岸は「高め」、沖合は「極めて高め」</p> <p>【6月】 県北沿岸は「平年並み」、沖合は「平年並み」 県中沿岸は「平年並み」、沖合は「平年並み」 県南沿岸は「平年並み」、沖合は「平年並み」</p> <p>※県北:37° 50'N、県中:37° 25'N 県南:37° 00'N 沿岸:142° 00'E以西、 沖合:142° 15'E以東</p>	<p>100m深水温 【7月】 県北沿岸は「やや高め」、 沖合は未実施。 県中沿岸は「やや高め」、 沖合は未実施。 県南沿岸は「高め」、沖合 は未実施。</p>	<p>【8月】 「平年並み」もしくは は「平年よりやや高め」 で推移する。</p> <p>【9月】 「平年並み」もしくは は「平年よりやや高め」 で推移する。</p>	<p>2019年に国立研究開発 法人 水産研究・教育機構 が作成した自己回帰分析を 用いた予測モデルによると、 8、9月の100m深水温はと ともに「平年並み」で推移すると 予測された。</p> <p>気象庁の海面水温・海流1 ヶ月予報(7月9日発表)によ ると、8月10日までの本州東 方の海面水温は「平年並み もしくは平年より高い」見込 みであり、親潮は「沿岸寄り の分岐の南限位置が40.5° N、145.5° E付近」になり、 「面積は平年並みか平年よ り大きい」と予測されている。 また、FRA-ROMSによる 100m深水温の予測による と、福島県海域では8月上 旬は平年より2~4℃高い海 域が広がるが、8月中~下 旬になると県北沿岸を中心 に親潮系冷水が波及してく るとされている。</p> <p>以上のことから、8~9月に かけて「平年並み」もしくは 「やや高め」で推移すると予 測する。</p>	
<p>常磐南部 ~鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)</p>	<p>4月:黒潮系暖水に広く覆われた影響により 全定線で概ね「やや高め~高め」となった。 特に会瀬~大洗定線ほどその影響は大き かった。</p> <p>5月:断続的に発生する暖水波及の影響に より0深で「平年並~やや高め」、50・200m 深で「平年並~極めて高め」、100m 深で 「やや高め~極めて高め」と全体的に水温 が高い傾向となった。</p> <p>6月:引き続き断続的な暖水波及により、0m 深で「平年並~高め」、50m 以深で「平年並 ~極めて高め」となった。一方で、黒潮が離 岸した影響で犬吠埼定線の沖合では前月 よりも降温した。</p>	<p>7月:前月までの顕著な暖 水波及は見られなくなった が、黒潮が立ち上がって 接岸した影響により0m 深 で「平年並~高め」、50m 以深で「平年並~極めて 高め」となった。特に、沖 合ほどその影響が大きく平 年より10℃以上高い地点 がみられた。</p>	<p>「平年並~やや高 め」で推移する見 通し。</p>	<p>①FRA-ROMS によると、8 月下旬~9月中旬の本県沿 岸域の水温は「平年並~や や高め」、100m 深で「平年 並~高め」の予測となっ ている。</p> <p>②気象庁によると本州東 方・関東南東方は「平年並」 か「平年より高い」見込みと なっている。</p> <p>③以上より、今後の水温は 「平年並~やや高め」で推 移すると予測した。</p>	<p>・1~6月合計 のヤリイカ水 揚量が過去5 年で最も多か った。</p> <p>・3~5月にお けるタチウオ の水揚量が 1990年以降 で最も多かっ た。</p> <p>・1~6月合計 のカタクチイ ワシラス水 揚量が2014 年以降で最も 少なくなった。</p>

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部~鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10~70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.3℃~	+3.8℃~	+6.1℃~	+5.8℃~	+4.9℃~	+6.1℃~
高い(7.5%)	+2.2~+3.2℃	+2.4~+3.7℃	+3.9~+6.0℃	+3.8~+5.7℃	+3.2~+4.8℃	+4.0~+6.0℃
やや高い(20%)	+0.9~+2.1℃	+1.0~+2.3℃	+1.6~+3.8℃	+1.5~+3.7℃	+1.3~+3.1℃	+1.6~+3.9℃
平年並(40%)	+0.8~0.8℃	+0.9~0.9℃	+1.5~1.5℃	+1.4~1.4℃	+1.2~1.2℃	+1.5~1.5℃
やや低い(20%)	-0.9~2.1℃	-1.0~2.3℃	-1.6~3.8℃	-1.5~3.7℃	-1.3~3.1℃	-1.6~3.9℃
低い(7.5%)	-2.2~3.2℃	-2.4~3.7℃	-3.9~6.0℃	-3.8~5.7℃	-3.2~4.8℃	-4.0~6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.3℃~	-3.8℃~	-6.1℃~	-5.8℃~	-4.9℃~	-6.1℃~